

III 地区別景観づくりの目標と方針

1 宮の橋地区の景観づくりの目標：大通りの歴史、市民の生活を感じる身近な街・宮の橋地区

① 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

① 低層の店舗が建ち並ぶ高さを引継ぎ、JR宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

- ◆建築物の高さの調和
- ◆周辺景観と調和するまとまりのある色彩の採用



◆統一フラッグ掲出



② 歴史的資源を守り活かします。

- ◆宝蔵寺(およりの鐘)、旅館藤江等の歴史的建造物の保全



- ◆特徴ある店舗の紹介等によるまち歩き促進



③ 宮の橋地区を思い起こさせるしかけをつくります。

- ◆初市など地区独自のまつりの活用
- ◆田川の花火や梵天祭り等、昔日のまつりの復活
- ◆旧町名の復活



出典)ふるさと宮まつり開催委員会H.P.
*1)出典:「昔日の宇都宮」(随想舎、1997)



③ 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

① 田川の風情を感じる景観を守り、活かします。

- ◆うらおいのあるプロムナードの形成



- ◆田川に面する壁面デザインの魅力向上



出展:徳島県 H.P.

- ◆橋や橋詰空間の活用

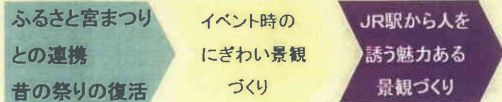
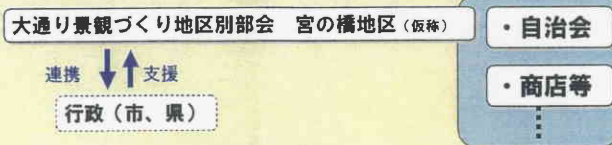


④ 景観づくり、まちづくり体制を整備します。

① 地域組織の連携体制を整えます。

- ◆自治会、商店街等による地域組織の体制づくり

- ◆まつりの復活等を契機とした景観づくり、まちづくりの開始



② 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

① 1階部にはにぎわいのある街並みをつくります。

- ◆低層部に飲食店を配置するなど、賑わいの連続性の確保



- ◆店舗の照明、街灯による明るい夜間景観の形成



② 店先に花を育みます。

- ◆四季を感じさせるうらおいのある景観の形成



③ 駐車場フェンス等を緑化します。

- ◆みどりによる街並みの連続性の確保



④ 地区、店舗に関する情報を積極的に発信します。

- ◆地区内共通デザインのサインによる、各店舗前での地区、店舗の歴史の紹介

